

教育委員意見交換会

日時 令和6年10月31日(木) 午後1時30分～午後4時50分

場所 堺市役所 高層館10階 教育委員室

出席者 豊岡敬委員、新谷奈津子委員、長田翼委員、大内秀之委員

(事務局) 櫻田浩樹教育次長 富岡重幸教育監

伊藤修士教委総務部長 杉本篤史教委総務課長補佐

森浦稔教職員人事部長 宇野敬子教職員企画課長 高山宗寛教職員人事課長

渡邊耕太学校教育部長 永木里恵学校教育部部理事

岩井伸司教育課程課長 島原宏文教育課程課参事

梅山真理子支援教育課長

井村美穂教育センター所長 山崎千春企画相談課長

品川隆一能力開発課長 大村慶学校ICT化推進室長

峯耕一郎学校管理部長 樋口信征学校給食課長 熊田典子学校給食課参事

南健次中央図書館長 松好由実中央図書館総務課長

高瀬篤久学芸課参事

居谷達矢教育政策課長 森本恭明教育政策課長補佐 楠本奈央子教育政策課企画係長

案件

- ・堺市立学校任期付管理職(校長)公募の結果について
 - ・令和7年度堺市立学校園教職員定数配分方針の策定について
 - ・堺市子ども読書活動推進計画案について
 - ・令和7年度以降の学校給食献立方針及び学校給食費の設定について
 - ・11月補正予算(令和6年度堺市一般会計補正予算)について
 - ・堺市立みはら歴史博物館の指定管理者の指定について
 - ・堺市教育文化センターの指定管理者の指定について
 - ・第2回総合教育会議について
- その他、非公開案件2件あり

・堺市立学校任期付管理職(校長)公募の結果について

令和7年度堺市立学校任期付管理職(校長)の公募について、最終合格者が決定したことを報告。

(主な意見)

- ・合格者が全員男性であるが、女性の応募者数は何名だったか。
→5名であった。
- ・子どもたちが大半の時間を過ごす小学校において、校長をはじめリーダーとなる方がすべて男性だったら、「管理職は男性が務めるもの」という認識で子どもが育ってしまう危険性がある。子どもの頃から身近に「多様性」について学び、リーダーシップをとる人も多様であっていいということを学ぶためにも、より多様な方に校長になってもらいたい。

- 任期付校長に関する取組も含めて、多様な人材がいる学校園をめざしている。その取組の一環として、今年度から「女性教員のキャリアプランを考える交流会」を立ち上げた。交流会では、身近なロールモデルや先輩と交流することで、管理職になるという道があることを知ってもらい、管理職という選択について、まずは考えてもらう機会を設けた。男女関係なく経験や能力、個々の思いに応じて管理職やリーダーになることのできる環境を用意し、男女問わず管理職になることができる情勢を作る必要がある。
- ・事前に説明会などで、堺市では多様な方を募集しているというアピールをし、興味を持った人が職務内容を理解した上で、応募できるようなきっかけがあればいいと思う。堺市では、任期付校長という道があるということを社会に知ってもらうことが大事である。
- これまで説明会はしていなかった。今回はできるだけ広く周知をするということで、PR ワイヤーを使って、インターネット経由で全国に周知を図った結果、全国各地、海外に在住している方からの応募もあった。
- 説明会はオンラインでの開催も含めて検討する。今回は一次面接をオンライン、二次面接は対面で実施した。一次面接をオンラインにしたこともあり、現在就職している方や、海外に住んでいる方にもチャンスが生まれ、門戸を広げることができたと考えている。
- ・学校ごとの課題に応じて、どのような方に来てもらいたいのか、どのような教育をすべきなのかなどを具体的に提示した上で選考することで、結果として多様な方にきていただけるのではないかと考えている。

・令和7年度堺市立学校園教職員定数配分方針の策定について

11月定例会に上程する予定の令和7年度堺市立学校園教職員定数配分方針の策定について報告。

(主な意見)

- ・特になし

・堺市子ども読書活動推進計画案について

令和6年9月25日に報告した堺市子ども読書活動推進計画の改定にあたって、骨子案を基に作成した計画案について報告。

(主な意見)

- ・読書関連イベントとは具体的にどのようなことをするのか。
- 図書館で開催しているイベントは乳幼児向けが多く、おはなし会や読み聞かせ会などを実施している。また少し年齢が高い子どもを対象にした取組として、自分が薦めたい本を互いに紹介しあい、みんなで一番読みたいと思った本を決めるビブリオバトルなどの開催に取り組む。
- ・ビブリオバトルには効果があるのか。
- 効果はあると考えている。現在、中央図書館で実施しているビブリオバトルは小学生の参加もある。本を紹介する側でなくても観戦者として参加する方法もあるので参加しやすい。個々の思いや考えを聞き合う楽しさがある。
- ・読書をすすめる活動は大事であり、学力の向上にはたくさん読むことができる環境が一番大事だと思う。
- ・18歳以下の年間新規市立図書館利用登録者の増加などを目標に掲げているが、18歳以下の人口が減っていくことなども踏まえた取組などが見えない。また、読書環境の整備においてGIGAスクール構想との関わりについて明確な記載がないため、1人1台PCを使ってどのように読書の環境を広げていくのかという取組を記載すべきである。
- ・本を読む機会は減っていても、SNSなどで字を読む機会は昔より増えている。そのようなニーズを踏まえて、新

- しいものを取り入れてもいいのではないか。デジタルをどう活用していくかについて考えることが必要である。
- 子どもが様々な媒体やジャンルの本に触れる機会を増やし、興味に応じて自由に読書活動が行えるように環境を整備する。
 - 電子書籍にも力を入れる。電子書籍は、多様な子どもたちへの対応として、文字の大きさや背景色を変えることや、読み上げが可能なものがある。
 - ・なぜ全国よりも堺市の子ども達のスマホの使用時間は長いのだろうか。地方との違いなど関係性や傾向はあるのか、今後もアンテナを張って、情報を集めていく必要がある。
 - ・複数ある成果指標の中で、どの指標の成果の効果が高いのか不明である。令和 11 年に向けて取り組むときは、効果を測り、効果が高いものに集中的に取り組み、取組に強弱をつけられるようにしてほしい。
 - ・スマホ視聴は生活リズムと直結していることが報告されている。文科省が推進する「早寝早起き朝ごはん」という生活リズム確立の取組がある。生活リズムを確立することが、学力と相関関係があるというデータもある。スマホは脳に影響を与えるので、夜遅く使っていると寝る時間がずれ、睡眠サイクルが崩れてしまうというデータも出ている。堺市では「みんなく」を推進しているが、スマホの使用時間は家庭教育の中の枠組みでもあるので、地域や PTA での呼びかけも必要である。
 - ・視覚に障害がある人は目からの情報が入りづらいので、耳から情報を得ている。耳から本の情報を得ることも読書に入るのか。
 - 計画では、オーディブルやマンガも含めて、読書の概念を広く捉えるという趣旨の文言を記載している。この部分を、より分かりやすく伝えられるように、表記等工夫する。

・令和 7 年度以降の学校給食献立方針及び学校給食費の設定について

令和 7 年 6 月からの全員喫食制中学校給食の開始に際し、本市の学校給食の基本的な考え方を整理し、定めた小学校給食、中学校給食の献立方針に基づき設定した令和 7 年度以降の学校給食費必要額について、堺市学校給食安全衛生運営会議(以下「懇話会」)で意見聴取を行い、懇話会各委員から妥当性があり理解できる金額と認められ、堺市学校給食管理委員会(庁内委員会)で決定したことについて報告。

(主な意見)

- ・一食当たりの金額差が少額でも栄養価への影響が大きいことに驚いた。今検討している金額の中でできる限り必要な栄養価を満たす給食を提供して欲しいと考える。
- 経費的に削減できる部分に関しては削減の努力をした上で、その部分を栄養価の充足に役立てて欲しいなどさまざまな意見をいただいている。今後も常に見直しを行い、給食の内容の充実に努める。
- ・エネルギーや脂質はあまり家庭の負担にはならないが、鉄分は一般家庭の献立でも提供が難しいことがあるので、鉄分をもう少し増やしてもらいたい。
- 使用する食材や献立の工夫によって充足に努める。
- ・給食を残してはいけないという指導は、子どもが給食の時間が嫌いになってしまう原因になると思うが、そのような指導は行っていないか。
- 給食を残してはいけないという指導は、国の方針もあり、行っていない。各学校では子どもが自分の適量に合わせて増やしたり、減らしたりすることを自ら選択する取組を行っている。給食の時間を楽しみ、おいしく食べるということを重視している。

・11月補正予算(令和6年度堺市一般会計補正予算)について

令和6年第4回市議会に提案を予定している補正予算案について報告。

(主な意見)

・選択制中学校給食の利用率はどれくらい増加しているのか。

→学校によっては30%を越えているところもある。10%未満の学校もあるが、平均15%程度であり、当初の想定より2%多くなっている。令和7年度からの中学校給食の開始も影響していると考えられる。

・堺市立みはら歴史博物館の指定管理者の指定について

指定管理により運営している堺市立みはら歴史博物館について、次期指定管理期間(令和7～11年度)の指定管理者候補者を選定したことを報告。

(主な意見)

・特になし

・堺市教育文化センターの指定管理者の指定について

指定管理により運営している堺市教育文化センターについて、次期指定管理期間(令和7～11年度)の指定管理者候補者を選定したことを報告。

(主な意見)

・特になし

・第2回総合教育会議について

・令和6年度第2回総合教育会議について、概要等を説明。